京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

通信　漢京より　北韓山生

▲東京よりの來信に依れば寺内統監は着任早々從來の煩瑣なる施政の方針を更め、所謂法三章主義を採るのみならず、屠牛税、酒造税、家屋税及鹽税の如きを全廢すべしとのことに御座候、▲是等は韓人は勿論、在韓邦人も亦大に悦ぶ處、如斯にして初めて韓國統治の要諦を得たりと申すべくや、▲殊に前記の税制廢止の如きは洵に聰明なる企てにして、他國は知らず、韓國に於ては惡税と申すべきにて候、▲就中鹽税の如きは、抑も何を血迷ふて目論見たることかと呆るゝの外は無かりしものに有之候、韓國の人民が富の程度などは殆んど斟酌だも爲されざりしことかと思はれ候、▲又酒造税も韓人の生活には、酒が殆んど米鹽と撰ぶなき程の必要品なるに於て、其の課税は鹽税と等しく下層韓人の存在を危くするものに有之候、尤も國費の財源は確實不動のものたるを要とす、此の意味に於て右二種の課税の如きは實に恰好の財源たるべきも人民の存在を危うする課税は到底惡税なるを免かれず候、叙上は爲政者が最大の注意と考慮を要すべき民力の測定を誤りしに因るものに御座候、▲但し法三章主義の採用に至りては、吾等は唯其手心を悦ぶのみ必ずしも之れを強要すべきを思はず、韓國は未だ所謂警察國の域を脱せざるに、吾邦人と同じく權義の主体として立たしめんには、勢ひ煩瑣なる施政も亦萬己を得ざることとも有らん也、▲東京の或小學校にては、其の女生徒をして英京倫敦の一小學校の女生徒と手紙の交換を爲さしめ居れるが、教育上極めて良好なる成効果を收め得べく期待せられ候、▲成効果とは、一言にして悉すを得ざるも兒童が智識の交換は其主たるものなるべし、次には人間存在の保障とも云ふべきもの即ち、社交を愛好するの天賦が、教育に因り、修養に因りて其の成長と共に、自然に減退する吾邦人の欣ぶべからざる常態を防止するの一助とも相成るべき乎、在韓教育家は特に深き注意を拂ふべき一事例にて候、這は在韓邦人は吾國の勢力の對外沙頭たるべき分け前を有し、其子弟は一層優れる後繼者たるを要するが爲め也、

雜録　最快速の巡洋艦

此程有名なる英國ヴヰカー會社に於て起工されたる主戰巡洋艦プリンセス、ローヤル號は英國海軍に於る最長最快速の裝甲巡洋艦にして價格約二百萬磅即ち二千萬圓にして艦の全長七百呎幅最大八十呎排水量二萬六千三百噸馬力七萬速力三十節にして竣工期限は九百十二年なりと是れ實に世界に於ける最長最快速の主戰巡洋艦なりと云ふを得べく今や獨米に於ける最新式裝甲巡洋艦と雖も之に及ばざると遠し從來の裝甲巡洋艦中最大なるものに付き見るも伊國艦長の最大限六百呎を超ゆるものなく速力に於ても主戰巡洋艦とせば二十一乃至二十五六節以上を算するものなし同艦の如く強大なる快速力を有せんには汽機の數を增すは勿論之れが爲に艦長の增加を止むなくするは當然なることとなるが兎に角主戰巡洋艦として斯る快速力を要すべきや否やは研究に價すべきものあり兎に角斯る快速力の裝甲巡洋艦を建造するに至れるは流石世界の海軍國たる英國の誇りとする所なるべく是又世界海軍國の注視を惹くに至るべし

一大戰艦の威力

補充艦艇費七千六百餘萬圓を以て建造さるべき豫定艦中排水量一万八千餘噸の裝甲巡洋艦一隻驅逐艦一隻のみは未着手にして何れも近々起工若くば起工準備に着手さるべきが既に該費目に依りて工を續けられつゝある本邦最大の戰艦河内、攝津（外に排水量千五百噸の航洋驅逐艦一隻も起工さる即ち舞鶴に於ける海風號）の二隻は工程豫定の如く進み攝津は來る十月河内又來春早々進水を行ふの運びに達すべき見込の由なるが兩艦は共に計畫噸數二萬八百噸にして薩摩、安藝の二戰艦に比し排水量に於て更らに千噸の大艦なるのみならず馬力二萬五百全長四百八十呎幅員八十八呎の縱艦にして薩摩、安藝が十二吋砲四門（砲座前後二個）十吋砲十二門四吋七砲十二門なるに對し河内、攝津は何れも十二吋砲十二門（砲座六個兩舷部に各二砲座を有す）六吋砲十門四吋七砲十二門を備ふべく竣成の上は本邦海軍未曾有の威力（速力及び水雷發射管は薩摩同様二十浬半にして五個を有し戰艦中の最快速度を占む）を示すべきものなりといふ

●松花江の課税問題

露清兩國間の松花江航行問題は先般來北京に於て交渉中の處又々行惱み頃者再び哈爾賓に移されたるが露國は其解決迄松花江にて清國の賦課する關税は之を税關吏に納付せず露清銀行に供託し若し過剩を生ずる場合は該過剩額を供託金中より拂戻すことゝし既に之を公布せり

●第二練習艦の航程

淺間笠置の兩艦を以て編制さるゝ新練習艦隊の航路及び發着期日は既記の如くなるが別に聞く所に依れば右兩艦の航行速力は八浬（現練習艦隊は九浬）日韓方面在外日數は二十八日此の航程二千四百十五浬、中米方面在外日數は百二十七日此の航程一萬七千四百二十浬合計在外日數百五十五日航程一萬九千八百三十五浬と決定したりと

●騎兵用の無線電信

騎兵用無線電信に就ては各國競うて其の研究に從事し居れるが右無線電信用材料は僅々駄馬二頭にて運搬し得るほどに輕便なるものなるに拘はらず到所の地點に於て騎兵司令部への通信に堪ふるの効あり現に過日米國陸軍にて卅一浬の距離に於て其の有効なる事を確め得る由我が陸軍に於ては少くとも其の有効距離を五十哩以上に達せしむる目的を以て疾くより研究中なりと

俳句

夏（植物）五句　北田千春

草庵の雨部かなり今年竹
葉柳や待合茶屋の裏二階
歸らんせ瓜も冷して候ぞ
赤壁の後ろに高し今年竹
夕顔の下に遊女の化粧かな

講談　越後傳吉　第十回　大岡政談　旭堂南陵講演

すると一室の内で娘が　娘「サアお父さんそんな妙な聲を出すもんぢやないわね夜が更けてからさういふ聲を時々出して下さると家が汚ないもんだから、誰いふとなく彼所の家は妖怪が出る、妖怪屋だといつて誰も宿泊人がない、茲四五日遊んで漸と今夜お一人お泊りになつたお客があるのに、又お父さんがそんな聲を出すと吃驚なされますよ、サアお父さん今御飯を上げますから喧しくいはないやうに」といふのが聞ねたから傳吉が密と障子の脇へ身を寄せ、破れ穴から密と中を覗くと、前に蒲團を一疊グル／＼と巻いたのを置て其所へ凭れたはもう五十の上を越た爺さん髯を蓬々と生じ兩眼は落込んでしまひ、人間らしい顔の色がサツパリない、垢で薄黑くなつて顔手足は痩衰へて骸骨のやう、餘ほど病苦に悩んで居るものと見ねます、お盆の上に小さな握御飯を作へたのを載せ、先刻の宿屋の小娘が　娘「サアお父さん、お握飯を上げます、口を開けない」といふと父親は病み呆けてるものと見えて　父「アヽア、アヽ」子供のやうに涎を繰りながら口を開けるその中へ握飯の小さなのを半分にしてポーンと入れるとムシヤ／＼と食べる　娘「ねへお父さん、妾は充分なことをして上げたいが子、今もいふ通りお泊りがなければお錢が入りません少々の道具をばポチ／＼賣りながらお父さんを斯うやつて介抱して居るので、お父つさんを介抱するのはホンの妾ばかり、不自由だらうけれど辛抱してたくれ、宜いかいサア御飯だよ」障子の破れよりこれを眺めて思はず知らずホロ／＼と涙を流した傳吉　傳「アヽ親孝行な娘さんぢや、良ことを見せて貰ひました、私は義理あるお母さんや女房をば早う樂にさせたいと思つて江戸まで稼ぎに行く途中、私から見りやアズツと年の下の娘さんが只た一人で病み耄けた親をば養ひこれだけの家を經營て行くといふのは實に孝行なお方ぢやア、良いものを見せて貰ひました」と感心して、漸う小便を濟して二階へ上り、トロ／＼と寢入て眼を覺すと　娘「お早うございます」傳「オヽ、ヤア、エライ早うございますな」娘「ハイ、只今御飯をいたします、お手水の水は彼所に取つて置きました」傳「アヽモシ姐様ね、私はな、前夜チト餘計に食べたのでお腹が大きうございます、モウ御飯は頂きません」娘「イヘ、そんなことを仰しやらないで、どうか美味い物もございませんが、只今御飯を拵へますから　傳「ナーニ要ねへです、私ア御飯は結構でございますだ、どうぞ姐様構はないで置いといて下せね、昨夜食べましたからお腹が大きいのでございまして　娘「ハア左様でございますか、さういふ譯だつたら半旅籠代　傳「ナーニ、半旅籠代でねへ、食べねへのは私の勝手でございますから、旅籠代は矢ッ張り普通に取つて下せね　娘「だつて貴方一飯だけしかお上りにならぬのですもの」傳「イヤ／＼さうでねへ、どうぞ普通だけ取て置て下せね、頼みますから」娘「誠に有難う御座います、傳吉ナカ／＼腹を拵へるどころおやございません、これは傳吉が自分の空腹を辛抱して、假令一飯でも助けて上げたならば親子一度の食事が出來ると思ふからです、いよ／＼食事を濟せぬと極めた傳吉やをら、膳を進ませ　傳「さて娘さんね」娘「ハイ」傳「私が昨夜便所へ參らうと思ひまして」娘「マア／＼濟ぬことをいたしました、お便所を構ばれ話し申しとくのを忘れまして　傳「イヤ、ナーニ、そりやア構はねへだ、アノ患ふて御座つたのはお前様のお父さんかね」娘「アレ昨夜妾のお父さんのところを御覧になりましたか、誠にどうもお耻しうございます、どうぞお氣に觸へられませんやう」傳「アヽモシ何が氣に觸りますか、エライ良い事を見せて頂いた私には何より良い教へだ、私ア頸城郡高田の在寳田村の井上傳吉といふ者でございます、私にも義理あるお母さんや女房、この二人をば早う樂にさせたいと思ひまして、國を立つて江戸まで稼ぎに參ります者、ハイ私も親を大切にしたいと思ふて行く者があんな孝行になさる所を見せて頂いて實に結構な事でございます、お名前は、何と申します。



京城新報

不渡手形小切手發行者の首切
手形交換所の開設

京城手形交換所の開設は久敷き間の問題であつた、不肖余輩は各銀行者に數次其必要を説いた、各銀行業者は常に時機尚早を以て答へた、今や各銀行業者は一齊に時機の到來を看取した、同時に同心協力逐に其開設を見本月本日より交換事務を扱ふこととなつた、余輩は平素の主張として同所の開設を喜ぶものだ、同時に同所の意義ある存在を望むものだ、故に此交換開始の日に於て敢て左の言を爲すのだ。

手形交換所の開設其事柄は**地味**なことだ、派手な統監乗込や、大相撲の勝負に比して甚だ地味なことだ、併し熟らく考へると同所の開設は半島經濟界にとつて重大な事だ、一層深く考へると半島**經濟界の新紀元**だ、而るに世人は此重大な出來事に向つて相撲の勝負程にも注意をせぬ注意をせぬのは何の爲か、思ふに交換所の効用を究めぬ爲か、明治四十三年七月一日の**曙光**は交換所の開始に因つて京城經濟界の爲の曙光だ、今日より我京城は半島經濟界の中心として兎にも角にも**第一期**に入るのだ

甚だ言惡い事ではあるが、過去に於ける我經濟界は混沌たるものであつた、不渡手形小切手は怪しまれずして發行された、此不法行爲に對する各銀行の態度如何と云ふに冷然淡然知らざるもの〻如く不法行爲に何等の制裁も加へなかつた、尤も不法行爲者に對する法律上の制裁が無いではない、併し法律の力を藉るは徒らに經費と手數を要し多くの場合に於て不渡手形小切手所持人の不利に了らしめた、此弱點に附込み不法行爲者が跋扈跳梁を極めた、斯る狀態に於ては玉石混淆世を擧げて無信用だ、其の結果として手形小切手の効用を薄からしめた。斯る危機に於て手形交換所が出來た、此交換所は一体何を爲すか。

云ふ迄も無く交換所の事務は加盟各銀行の持出せる手形小切手の交換にありだ、故に此交換にして無事に行はれんか平々坦々砥上を行くが如しだ、併し一度不渡手形小切手を發見せんか茲に同所は**信用界保安**の爲めに**制裁權**を發動して一般手形小切手の信用を保護するのだ、聞く所に因れば交換所規則中の制裁は第一に**不渡手形小切手發行者の氏名を新聞に公告**し第二に右不渡手形小切手の**名宛銀行に制裁金**を課すのだソウだ、余輩を以て見れば上記の制裁は實に寛に失して居る、而かも此寛なる制裁と雖ども一度是れを受けなば最早其人其銀行は信用界に於ての**被死刑者**だ、之を以て考ふるに今後の手形小切手發行人は氣を附けねばならぬ、各銀行業者は其取引者を撰ばねばならぬ。

茲に最も監視を要するは交換所だ、交換所素人間の集合体だ、人間の事には兎角**情實**が挾まるものだ、因つて思ふ若しも理事者にして情實の爲に前記の制裁を怠らんか交換所は威信を失つて立所に有名無實となり、一般經濟界は害せらる〻、重ねて思ふ交換所の役目は信用界の**陶汰**にありだ、此大役を果す爲めには理事者に**凛**たる**決心**が無ければならぬ、左顧右顧世人の思惑を氣にする樣では到底好果は舉らぬ。

東京電報

▲**保險法改正案** 保險法改正案は一昨年來農商務省保險局に於て調査中なるが來期議會には完了すべき見込にて之れと同時に水產救濟法も提出せらるべしと(三十日)

▲**獨大使敦賀發** 今回賜暇歸國を命ぜられたる本邦駐劄獨逸大使ムンム男は敦賀出帆浦汐西比利亞線を經て歸國の途に上れり(同上)

▲**警務總長任命** 明石憲兵司令官は警務總長兼任を命ぜられ明日發表せらるべし(同上)

▲**警察官制公布** 統監府警察官署官制改正之件公布せられたり警務總長之を統轄し警務官には警務部長一警視五十二通譯官三技師一醫師六十八警部技手通譯三百五十七名を定員とし警務總長警務部長は命令權を以て拘留科料を執行し得ることに規定しあり又韓人警務官警視任用資格其他附屬勅令を發表せられたり施行は明七月一日よりなり(卅日)

▲**勸業債劵締切** 新發行の勸業債劵は全部締切を了したるが其の結果は意外の好成績を示し締切當日迄に本店受附七百九十六萬四千四百圓に上りたれば地方申込の分全部の報告に接する時は相當多額に上るべし(同上)

▲**雨敬重患に罹る** 雨宮敬次郎氏は久しく片瀨の別莊に靜養中なるが昨今胃心臟肺炎糖尿の四病を發し頗る重患にて醫師家族親戚の人々は病室に詰きり看護に努め居れり(同)

▲**有吉長官の轉地** 有吉總務長官は病氣のため千葉縣に轉地療養に赴けり(同上)

▲**暹羅公使の謁見** 本邦駐劄暹羅國特命全權公使リーヤスバック氏は今般赴任に就き同國皇帝陛下の信認狀並に前任公使解任狀捧呈の爲め天皇陛下に謁見終つて桐の間に於て皇后陛下に謁見仰せ付られたり(同)

伯林電報

▲**ル國皇后危篤** ルーマニヤ國皇后は盲腸炎に罹らせられ容體不良なり(三十日)

▲**葡國の新内閣** 葡萄牙殖民銀行總裁エーグークセットホッサ氏は新内閣を組織せり(同上)

▲**埃及大學設立** 埃及政治家は君士斯坦堡に大學設立を勸誘しつ〻あり(同上)

紐育電報

拓殖總裁の訓令

去る二十七日桂拓殖局總裁が所屬官廳に對して發したる訓令書は統監府にも到着せるが其内容は拓殖政策の根本より說き起して事務取扱に關する諸件に及び浩瀚のものなりと

松井局長の辭任

松井警務局長は三十日左の如く辭任の手續を了れり

内部警務局長 松井茂
依願免本官(三十日付)

商會議員の當選

京城日本人商業會議所議員半數改選は卅日午前九時會議所樓上に於て行はれたるが總點約二百二點一級當選者は左の如し

百七十五點	西元榮之助
百七十三點	增田三穗
百七十三點	大橋清三郎
百七十點	小林藤右衛門
百六十九點	松浦源治
百五十三點	日韓殖產株式會社

而して二級當選者は左の如し

六十七票	山口太兵衛
六十二票	中村再造
同上	佐野彥造
同上	進辰馬
六十票	林田金次郎
同上	前田館市

●**岡鳥取縣知事決意** 岡前内部次官は鳥取縣知事に轉任の辭令を受取ると同時に辭表を提出したるが今其の成行に就き聞くに岡氏は故伊藤公の統監時代に辭表を提出したる事二度に及び其後公逝きて曾禰子統監の位置に立つや同氏は子の厚遇に感激し爾來種々劃策する所ありしが曾禰子又不幸にして病に犯れ辭表を提出し其の劃策も實行期を失ひ喧嘩兩成敗の位置にある木内農商工部次官は依然留任したるさへあるに偏僻なる小縣鳥取縣知事に轉任を命ぜられたれば忍ぶべからざる屈辱と成し曾禰子に殉ぜんと決心し直ちに辭表を提出したる次第なるが其の後桂侯寺内子の諸先輩より懇篤なる勸告を受け兎も角も就任する事となり事務引繼ぎの爲め來韓し目下の處表面平穩の如くなるも同氏當初の決心は翻がさるべきものと認む可からざるも若し氏にして就任を諾せざれば懲戒免職を受くるやも知る可からずとて近親朋友間には少からず憂慮しつ〻あり然れども同氏の決心は頗る鞏固にして歸朝後は更らに辭表を提出し暫らく江湖に放浪し機を見て政友會に入會すべしと確聞す

●**副統監官邸の整頓** 山縣副統監の官舍たるべき大和町二丁目元曾禰子爵が副統監時代に住居し其後菊池大韓醫院長の住まへる邸宅は既に裝飾萬端の設備を竣へ美事に整頓せられたり同宅は野津軍事顧問之を建築し後ち度支部に買收して一時義親王の邸宅とせるものにて今も尙度支部の所管營造物なり

●**學士會と三氏送迎** 水野內務省參事官歡迎及び原田京城日報主催の送別を兼ね學士會例會を廿九日午後七時花月樓に開きたるが出席者は倉富司法廳長官、俵、小宮兩次官、菊池局長、吉原副總裁を初め在留の學士七十餘名にして菊池局長開會の辭を述べ水野、岡、原田三氏の答辭あり十一時過散會したるが頗る盛會なりしと

●**松井氏と殘務處理** 松井警務局長は別記の如く三十日付にて辭任を聽許されたるが同氏は事務引繼ぎを完了するまで警務局殘務取扱を命ぜられたり

●**大韓日々新聞發展** 韓字新聞大韓日日新聞社にては今回新たに機械活字を購入して內部を整理し岩本英夫氏主筆兼顧問として入社すと

●**官制及勅令の公布** 統監府警察官署官制外勅令七件今三十日の官報を以て公布せられ七月一日より實施の旨統監府へ來電ありたり

●**副統監小郡驛到着** 二十九日午後八時十分發にて大城戶秘書官より山縣副統監山口縣小郡驛に安着の旨統監府へ來電ありたりといふ

●**岡喜七郎氏別宴** 在京城岡山縣人會は來る七月二日岡前內部次官の爲翠樓に祖道の宴を開きて行を壯んにすと

●**木塚常三氏退社** 朝鮮日之出新聞主筆たりし木塚常三氏は今回同社を辭し憲兵司令部編輯事務を囑託されたり

各地の稲苗植附(二)

▲**禮山** 本年は春以來降雨殆んど皆無と云ふの姿にて當地方苗代給水に缺乏を感じ一般憂慮し居りたるも先般來前後兩三回の降雨ありたるを以て苗代の枯死を免かれ目下植付けに着手中にて水量乏しからざる箇所に在りて今日までに一分位の植付けを了し未だ先般來の降雨量の多量ならざる爲め向後充分の雨量を得ざれば植付上困難を免かれざるものと信ず▲**南陽** 苗代は旱害に會ひ苗の生育甚だ遲緩なりしが五月三十一日より二三回降雨ありたる爲め苗の生育旺盛となり移植期に入れり本田は充分の用水を得山間棚田等も用水に不足なく最早本日迄殆んど全部潤雨せり▲**昌原** 過般來の潤雨にて晝夜の別なく潤雨に努め目下殆んど九分通り植付を了し居るも麥作の刈入を終らざる分に對し現今の水量にては潤雨困難の實況に有之勿論今後潤雨の模樣を見るに非らざれば其結果豫め斷言し難きも先づ今日の處にては敢て杞憂すべき程の事は無之ものと信ず▲**新幕** 當地方は水田としては殆んど無之植付其他は別に變動なく一般の作物には過日來の潤雨にて復活せり▲**白川** 潤雨の義は未だ半分に過ず▲**海州** 稻作植付の義は春來雨量皆無の爲め養水缺乏米價暴騰の爲め前途多大の憂慮を懷きしも前日の降雨にて苗代畑作とも大に生氣を回復し又此四五日前の降雨にて養水潤澤既に大部分の潤雨を終り目下稻作に對し樂觀し居れり▲**瑞興** 近來當地方數度の降雨あり爲めに用水十分と相成目下盛に植付中に有之今日の狀態に於ては洵に有望の樣に認めらる▲**兼二浦** 當地方に於ける潤雨は元來當地方は韓人村落に離隔し又附近に邦人の農事經營者を有せず且つ調査の機關なく乍遺憾確實なる調査を遂ぐるを得ず▲**延安郡** 本郡境內水田は水源を不得爲めに春來の旱天にて潤雨未だ半に不過五月三十一日の降雨にて僅かに十分の二位の移秧を見るに至れり▲**黃州** 過般來の降雨にて幸挿秧には差支無之此二三日內には全部植付を了する見込▲**平安南道** 稻作に就ては何等支障なく全部植付を了せり(完)

●**東亞煙草製造近況** 昨年來製造所開始以來豫想の如く漸次好況に向ひ來りしに伴なり從來は附口としては朝日以上を製せざりしも先月より大和製造を開始したり是亦た案外賣行好況なり成る人は韓製大和は稍や品質の劣等を云ふも元來官製は極て厳重なる統一の下に材料を集配する者にて營製造所の如きも勿論此圈內に屬するものなれば本國產と何等徑庭のあるなし朝日は近來韓人中流以上の嗜好盛なりしと一面日本人の增加に伴れ需用大に擴大されたり兩切はピーバー、ハチービーの兩品は南韓地方に賣行最も善く殆と英米トラスト他幾多同業者を凌駕する有樣にて從つて供給に手廻らず他ウエールスも不相變景氣よく從來の平壤の他南韓地方にも漸く歡迎さる〻に至れり要するに兩切の風味は新しき丈け夫丈け善良なるものにて是等兩切の好景は畢竟是に歸するものならん其他口附に於て幾多同業あるも何れも韓葉材料にて香社の敵にあらず尙ほ工事中の刻煙草專用工場も來月中には落成の見込同時製造開始の豫定なり其他營業擴張に就き種々劃策せる事あるも未だ發表する能はざるを遺憾とす云々

●**朝鮮酒釀造の改良** 元山財務監督局に於ては朝鮮酒釀造の改良方法を示して韓人に敎ゆるの目的を以て過日同地赤田川附近に釀造試驗場を設け濟水技師主任となり元山里方面に於ける各面長及び酒造業者を集め釀造したるに其の成績非常に良好にして麴の如き從來韓人の用ひて尙は從來のもの以上の良酒を得たるを以て韓人は一時は何か藥品でも混入せらる〻ものには非ずやと疑たる程なりしが其全く藥品の混入等なく只麴の用法と釀成されたるものを冷却するとの二法の改良のみなるを知り非常に喜び昨今は各自此の改良方法に依りて釀造するもの漸時多きに加へつ〻ありと云ふ

●**輸出米の鑑定價格** 釜山稅關にては輸出上白米外十二品に對する鑑定價格標準を左記の如く變更し來る七月一日より實施すべしと

品名	單位	變更鑑定價格	從來鑑定價格
上白米	百斤	四、七〇〇	四、四〇〇
中白米	同	四、四〇〇	四、一〇〇
玄米	同	四、一〇〇	三、九〇〇
糯玄米	同	四、四〇〇	四、五〇〇
小豆	同	三、六〇〇	三、四〇〇
大麥	同	二、四〇〇	二、二〇〇
小麥	同	三、七〇〇	四、〇〇〇
粟	同	四、四〇〇	四、一〇〇
黍	同	二、四〇〇	二、三〇〇
布海苔	同	八、〇〇〇	六、〇〇〇
天草	同	六、五〇〇	五、五〇〇
〆粕	同	三、五〇〇	二、五〇〇
蕎麥	同	二、三〇〇	一、九〇〇

●**水野參事官の下仁** 滯京中の水野參事官は三十日午前九時四十五分仁川驛着橋本副理事官其他重なる官民の出迎を受け理事廳民役所其他の官衙に就て行政事務の視察を爲し官民と鱗樓に會食の上夕刻歸京せり

●**水野參事官の巡視** 水野參事官は一日午前に日之出小學校於義洞普通學校を參觀し工業傳習所に於て午餐を喫し午後漢城師範學校及度支部を觀察する筈なりと

●**荒井次官の歸任期** 東上中の荒井度支部次官は寺內統監に隨行して歸任の筈なりと云ふ

●**若林前總監の着京** 若林前警視總監は三十日午後八時十分南大門着列車にて入京したり

全北忠南地方農況

群山港の主要輸出品たる米穀の產地は全羅北道、忠淸南道に跨り其區域は頗る廣く即ち錦江、萬頃江の二流域の耕地を主とせり今其各地に於ける本年稻作植付の狀況を調査するに本年は春來の降雨順宜しく播種後稻秧の發育各地とも惡からず然るに植付時期に近き五月十日以後月末迄で約二十日旱天打續き灌漑用水なき田地は植付の準備出來ざるのみならず昨年の如き旱害に陷ることなきやを憂ひたるも時季尙早の爲め左迄悲觀するに至らざりしに折柄本月初日より二三日降雨あり十三、十四、十五の三日又降雨あり雨量多からざるも田面を潤ふし早稻を植付たる向多く而して十九、二十日の大雨は挿秧に最も痛切なりし爲め各地とも一時に植付を急ぎ農繁を極めたり如上十九、二十日の雨を機として植了たるもの各地を通じて平均六分に及び尙ほ昨今植付中なり以上の如くにして本年は今後の降雨順如何は豫知し難きも今日迄の植付狀態は順調なるを以て先樂觀して可也▲**錦江流域** 錦江流域水田は約二万町步以上なるが全羅北道に屬する礪山、龍安、咸悅の三郡は已に六分を植了り忠淸南道に屬する江景附近一帶恩津、扶餘、庇仁、連山を通じて約七分見當を植付けたり此地方の水田は全羅南道に比すれば溪流又は貯水池多く灌漑の便比較的宜しく降雨のみに賴らざるを以て今後中稻晩稻順次挿秧を行ふを得可し▲**萬頃江流域** 本流域に屬する耕地は最も廣く水田約三万七千町步餘と稱せり之を郡別すれば萬頃、谷山、全州、臨陂、沃溝の各郡にして就中臨陂、沃溝の如き灌漑用水に乏しき個所多し然れども十九、二十日の豪雨にて已に五分以上を植付たり益山郡は五山里以北以東沃水の利用あり又溜池に依る水利稍可なる處多し本年は已に六分を植付了れり万頃郡は沃水に依り難く貯水池に依るもの多く而も水量十分ならざれども降雨の爲め已に六分を植付たり▲**東津江流域** 本流域は水田反別一万六千町步あるべし主なる米產地は金堤、全州、古阜、井邑、泰仁、扶安の各郡にして扶安を除くの外水利灌漑の便は比較的宜しく何れも河水を堰き止めたる沃水に依るもの多し本年は已に六分を植了れり此地方の稻作は忠淸南道に比すれば十日乃至二十日許り遲る〻傾向あり降雨の如何に係らず水利の便ある地所は今收稻秧の中晩稻順次挿秧し得べき見込あり扶安郡は沃水を利用する能はざる個所多し然れども降雨に依り既に五分以上を植付けたりと云へり又興德、高敞の二郡は茁浦附近にして本流域に屬せざる降地なるが常に水多く本年も十分植付を爲し得る見込なりと

(六月二十五日關稅局調査)

▲治外法權▼

副統監着任の日取も愈切迫した、先生矢張天下の公道に因らず、下之關から光濟號で來るソウだ、花房時代の舊思想が中々抜けぬのであらう、ソウして貴重なる一日を無意味に消すであろう、識厭の聞え高き山縣がソレと知つたら出迎を禁ずるであろう▲本邦では海軍擴張熱が日日熾になるようだ、勿論陸軍との權衡など云ふ俗論から來たのでない、今や列國海軍の新型艦增加は大したものだ、彼の南米のブラヂルさへ最近に於てドレッドノオト二艘を加へた▲世界の一等國と稱する我帝國は何たるザマだ、海に蠑螺などの形容詞は使ふがドレッドノオトの一艘だに持たぬ、コンな事でイツまで一等國が續くか、盲目的自負では世は渡れぬ、國民擧つて製艦費を作るが良い▲ト云つてると米國政府はルーズベルトを筆頭とした五人の委員を撰んで列國政府に五年間の軍備縮少提議をするとの報知が來た、今から五年の後にはパナマ運河が竣工する太西太平兩艦隊が一ショになる米政府の提議はオツに意味深長だ▲中村滿鐵總裁は當期政府持株に配當するのを機會として 聖上陛下に拜謁し、南滿鐵道の現在及將來の經營に關して、委細伏奏し奉つた、ソウして 陛下よりは種々優渥なる御諚を拜して面目を施した、我東拓の宇佐川が同樣の面目を施すのはイツの事か▲支那革命黨の首領孫逸仙の首が十萬兩だ、銀貨にしたら餘程オモイ事だ▲當地の人氣を一新した東京相撲も愈打上げて仁川へ下つた聞けば來年本場所から協會が東西に分裂して互に覇を爭ふ事となるソウだ、ソウなつたら八百長は自然無くなるであろう▲スペル黨一名電氣頭は寺內の右に付愛國生命の社長鈴木ハーゲマンは目下天眞樓に陣取つて結黨の準備中だ、此頃同樓の二階が馬鹿に明るいのは全く鈴木式反射の爲だ。

●**在韓宣敎師の種別** 最近の調査によれば在韓米國宣敎師……逸人二八、加奈陀長老會十四八、濠洲同十三人、露國正敎會四人、降臨布……韓國人牧師及助手一千九百二十七人あり敎會堂は長老敎會の千二十二、監督所にて別に一千四百七十八個所の集會所を有し而して米國加奈陀及濠洲……は散在し……長老派及監督派は京城及平壤……の如く二派同地に存在するものあれど

△弓削幸太郎(鹿兒島縣事務官)廿九日入京山本へ
△石井權藏(憲兵中佐)同浦尾へ

の員數は長老敎會百一人監督敎七十八人、敎々會五人、英國聖書公會三人、救世軍敎會の三百二十三、天主敎會の四十七人、英國宗古聖敎會二十二人、福音敎[illegible]軍八人、基督敎青年會六人、宣敎師宿泊所一人計三百十六人にて之に屬する敎會の四十一箇合計一千四百九十三箇
京城平壤大邱其他に於て一箇所に多數集合居住するも佛國天主敎宣敎師は京城龍山を除く外一箇所一人にて各地に
も目下は互に布敎區を區分し其持場を定め居れり

公人私人

△小栗衍臣(憲兵中尉)同仁本へ
△島井準太郎(廣島縣職工學校長)同上
△鈴木正一(憲兵中尉)同上
△立川吉太郎(憲兵中尉)同上

片屋駒ヶ嶽 片屋文之助

▽鳴かない猫は鼠を取る 負けて歸れば優しい愍顔翌日は是非とも勝したいとは寛政の名力士谷風梶之助の女房れさくが關取衆の女房に代りて其心意氣を歌ひ出でたるものなりとは別段もの〻本に出て居る譯でもなく直接聞いたでも無れば餘り當にはせぬ如に「オヤ然うかしらん」位に思つて頂きたし、前口上は此所邊で切り上げて本文に取り掛らん、時は何日なんめりや明治四十三年六月上旬の事なりけり東京大相撲の面々滿韓巡業と決定したりとの事當地に聞へけるにぞ老若男女貴賤上下の差別なく指折數へて一日千秋の思ひして待ちたることなれば廿五日の初日よりしてノンノンズイ〳〵恰も金魚のウンコの如く連絡り小屋を目蒐けて押し寄せたる中にも中檢の藝妓連は梅の花だ從濁だ梅の枝だとお猿が人蔘を見付けた程にキャッ〳〵と騷ぎ回つて居る間に獨り澄し返つたる神妙なる者こそあれ何者やらんと籠手を拂つて見てあれば藤公の兒髷巳來メキ〳〵と其の名を顯はしたる掬翠の老妓文之助とこそ知られけり然るにても流石は二十歲臺にて老妓と唄はる〻程ありて大に滿場の士女を感ぜしめたり……掛も其後然る程に二十八日の夜梅、常陸、駒の面々或る大官に招かれたるに接待係として中檢の美形を召されし內に離りて踊り出し文之助既に總見の其の時より目星を附けて居たりしと覺しく特に駒ヶ嶽に接近し更に駒ヶ嶽が興に乘じて唄ひ出でたるに目を細くし凝を流し居たるが宴果てたる後もチー駒關醉つて車で揺られては心持が惡くなるようチー駒關夫れから土地に不馴れだから若しも迷子にでもなると惡いから一緒にアンヨして歸りませう……關取の迷子なぞは見つとも好くないから妾が送つてチー關取

誘ふ水

と云ふ如く深山撤りかけたる[illegible]駒ヶ嶽は[illegible]ひ條殆んど強引 誘ひ投げを食ては呑み込めぬ道理なく他の關取や藝妓を出し拔きて道行とこそなつたるが途々の文之助の甘へ様は非常なるものにて關取の國は谷風さんの產れなすつた宮崎縣は仙臺ですつて于好い土地だわねわ妾しや一遍行きたいよ日本三景の天の橋立があるんでつすてねぬ鯛の大きいのが取れるし目高や金魚は鯛よりは小さいわねね關取にはれ內儀があるのだつて新聞に出てたわ妾はホントに嬉しいの妾は今夜負けるのと譯の別らぬことを列べ立て遂に煙に卷いて宿坊掬翠に伴れ込んだ跡の幕は駒と文との兩人が知つて居る丈けなるが爭はれぬ因果の道理は四日目の土俵に顯はれたり一方文之助は何を思つてか手荷物なんどを行李に詰めて居るので女將は何うした事かと心配して何か氣に入らぬ事でもあるのぢやないかと尋ねたるにイ、エ仁川から平壤から安東縣から大連から彼方から此方から南大門から駒關が日本へ歸る迄見屆けたいのよと答へたりとか初めから騷ぎ回つて幕下力士をさへ手馴付け得ぬ意氣地なしの揃つた中に東方大關を倒した文之助を有するは我京城の誇りなりかし、鳴かない猫は鼠を取ると小野の道風善く詠んだナア

李在明等の公判

▽委細は明日の紙上に報導 李完用を刺し其の車夫を殺したる兇漢李在明一味黨の控訴審は既報の如く三十日京城控訴院に於て審問を開始されたるも何分事件入込める爲め公判進行せず四時を過ぐるも終審の模樣なかりし委細は明日の紙上に報導すべし

運の好い妾と俳優

▽谷川三藏の妾登が事 何うで妾奉公を爲る程の女に女大學の如な時代後れの敎科書を突き附けて理窟を云ふのは拙者發文明の敎育を受けた者の口にするを愧づる所にして只面白いから獨りで笑つて居ても詰らないから報道するのなり況んや夫れが詐欺られたるを好い事にして主人が拘引せられたるを好い事にして白晝俳優を自宅に引き入れ谷川が惡辣なる奸手段にて蓄へたる財産を精出して減しつ〻ありと云ふのだから一層珍では御座らぬか今事の顛末を報道せんに彼三藏の無情なるは他人にのみ然でなく現在三人迄子のある女房をも妾の色香に溺れて鄕里に逐ひ歸したるにて明なり其の妾の一人と云ふは兵庫縣惠保郡室津生れの奧本みな(二〇)にて仁川八坂樓に太郎と名乘つて現はれた翌日既にドロンを極め群山にて取押へられたる事のある前科附きの强者なるが夫れと知つてか知らずにか三藏は八百圓と云ふ大金を投げ出し身受けせし者にて今一人は宮城縣仙臺市元寺小路山二平藏の二女やい(二五)とて某料理店に酌婦稼ぎなし居りしを身受けしたる者なるが此れも到底一筋繩には行かぬ代物とて五月二十日三藏が拘引さる〻や先づ一二三年は樂が出來ると別居なし居りし兩名話し合ひ同居し其の翌日よりは毎夜〳〵の芝居見物中みなの目に止まつたのが浮田善兵衛(三七)やいは美崎憲之助(三七)に意を通はせ三藏が貯めた金丈けに思ひ切りよく莫大の祝儀を奮發し禮に來りし浮田美崎の兩人に主人は洋行してるから淋しくつて堪らないから明日朝の十時頃から本町九丁目の二十番戸ノ七谷川のアノ水戲の看板が掛つてるから直ぐ知れるからチ遊びに來て頂戴なとありしにそ兩人は辨當の副食物に蒲燒が入れてあつた程に喜こび委細承知仕つたるにぞ女二人も所願成就と打喜び車代として五圓札を渡したるに車代に五圓は多いと大に生卵を啜りて準備を調へ乘り込みたる巳來本妻の小供の學校へ行つた留守を見計らひ自宅に引き入れ猛烈にトチ狂つて居るが若し三藏が夫れと知つたら乾度監獄で病死するてとなるべしと聞いたら二人は左樣なら猶善いわと言ふも知れず、ヤ天罰〳〵

大相撲協會の分離

▽相撲道の一新紀元 從來我が邦相撲の組織は東西、即ち敵味方同一組合に屬し甚だしきは東西實力の權衡を失ふ場合には同一部屋の力士を東西に分擬せしむるが如き事あり——今の花籠當時の荒岩を現の西方より當時の西方たりし常陸山方に回らしめたるが如き千年川を東に回したる如きも一例なり——し爲め情弊著しく此の間に生じ所謂八百長なるもの〻流行を見延いて輿論の攻擊となつた、然るに彼れ友綱尾車の徒は之を一に力士の腐敗となし盛んに世論に迎合して此れを罵倒したる事すらあつた、力士らしめたのは彼れ等協會員の罪だとの理窟が此の頃に至つて判明したる爲め來年春場所打揚後東西兩協會を別々に立て各部屋も各個獨立せしめ——中に少人數の部屋は系統に從つて合同するもあらん——兩協會は純然たる興行者として部屋力士を買ひ入る〻こと芝居の興行者が齋入を買ひ九藏を買ふが如くすと云ふ、此の計畫の事實となりし曉こそ贔屓の立ち合ひを見るを得べし何んとなれば負ける力士の多い部屋は給金が安く分割も低ければ一生懸命となるは請合なればなり、記者は相撲道一新紀元を劃するものとして大贊成の意を表するものなり

●**醉つて警察へ宿** 千葉縣人平川佐吉(三六)は三年前渡韓し仁川松林里日本將油會社へ雇れ稼ぎ中鄕里實父より至急歸國すべき旨申來り一應歸國す可き事となり歸途二十九日京城に立寄り南山町二丁目岡部竹三郎なる友人に馳走を受け停車場へ引歸す途中御成町某酒屋に於てコップ酒四杯傾け酩酊して南大門外藍井洞雜貨商趙頑煥方へ立ち入り遂に店頭に上り込み商ひの妨害をなすのみならず自己の懐中より一圓紙幣十五六枚取出し內二三枚を引裂き醉狂せしより警官出張西署に引致し覺醒の上說諭放還せらる

●**此善玉か惡玉か** 鹿兒島縣人前田勇次郎水原警察管內にて懐中無一文にて旅館に投宿せしが計算出來ず京城明治町三丁目八十一番戸宮城五平に對し金十圓送付す可き旨打電せしを水原署に於て怪しご認め南部署へ電話を以て宮城と前田との關係取調照會ありしより南部署に於て取調しに右二人は日露戰爭の折り知人となりしのみにて何等關係なく宮城は事業失敗にて七八百圓の借金を作り其の辨濟方法に苦しみ目下山林賣買仲介に從事中なりとの事にて右事實回答せし由なり

●**列車より飛降る** 二十九日午後三時四十分發列車の京義線土城開城間を進行中矢田正雄(三六)なる刑事被告人車窓より飛下り逃亡を企てしが微傷を負へるのみなりしを以て取押へて開城へ護送したり同列車は爲めに五分間同所に停車したりと

●**盜まずに捕はる** 西部彰宮前十一統一戸朴致雲(二二)は二十九日午前八時頃北米倉町婦人病院內に於て靴一足を竊取し逃走せんとせしを警官に認められ南部署に引致し取調の上檢事局

●**稼業道具を盜る** 日の出町七十九番戸大工職江指佐一郎は大工道具箱一個外大工職用諸道具九點(代二十五圓三十錢)を竊取せられたる旨南部署へ屆出たり

●**無賴漢退韓命令** 平壤在留宿屋業林勝次郎及同貸座敷業青木和三郎は風俗壞亂の廉により何れも二十四日付を以て平壤理事官より退韓を命ぜらる

●**女郎の廢業** 新町遊廓清月樓女郎千代吉は今般泥足を洗ひ歸國する事となり三十日廢業屆出づ

仁川の東京大相撲

▽初日の重なる取組 釜山及び當地に於て空前の人氣を博したる東京角力一行は愈々三十日當地打揚後同夜九時二十分仁川驛着列車にて華々しく仁川に乘込み今一日より豫定の如く二日間各國居留地先に於て興行する筈なるが初日の重なる取組は如左

(駒)勇　雷ヶ浦　(日本海)　石山
刈藻川　國見野　(八甲山)　(佐賀海)
紫雲龍　(佐の川)　近江富士　八島山
男島　大蛇潟　(鏡)川　(梅の花)
龍ヶ崎　大淀　(大の川)　(碇潟)
鳳　黑瀨川　玉椿　土州山
(南)國見山　(駒ヶ嶽)　(常陸山)
梅ヶ谷　(朝)汐

●**桃中軒如雲の乘込** ▽二日乘込み三日初日 浪花節界の巨匠桃中軒雲右衛門の高弟にして却つて其の節回しなぞは雲右衛門に從るとの評ある斯界の麒麟兒桃中軒如雲は愈々來る二日當地歌舞伎座に乘り込み三日初日を出す都合なりと同人は本年十六歲の少年にして目下何人にもある聲變り期なれば例の小兒らしき調子は拔け大人らしき調子を帶び來り一層圓熟の域に入れりと聞く

●**敏子女史の講話** 今一日午後二時と午後八時半と二回南山本願寺に於て昨日入京せる奥村敏子女史の精神講話あり男女を問はず傍聽差支なく倘當日の演題左の如し
軍人の母の龜鑑「日本國民に生れたるを歡べ」(午後二時開演)五尺の身体借用證文「妾の信仰に入りし懺悔」(午後八時半開講)
因みに婦人法話會員有志は同日午後三時半本願寺に同女史招待會を催す由

●**京城青年會講演** 今回渡韓せられし日本基督敎界の名士植村正久君を聘し七月一日(金曜)午後八時鍾路皇城青年會に於て講演會を開く由にて參聽隨意なりと云ふ

今日の運勢

七月一日 舊五月廿四日 九紫佛滅 丁卯納
△一白 窮厄日新事旅行見合すべし家畜從者の事注意すべし
△二黑 不振の日新事見合せの事尙婚談請願共同組合委託凶
△三碧 利益又は便宜を得る日なり事業始め開店旅行婚談に吉
△四綠 快寧の日大抵吉婚談名弘め入學門屆入れ共同連盟に吉
△五黄 快通の日なり取引貸借賣買談判示談進んで吉但し疾病衞生に注意す可し
△六白 新事見合せの事尙婚談連盟旅行凶
△七赤 新事見合せの事旅行轉住建築修築に吉
△八白 便利を受くるあり業務上利得あり誘惑に動かさる〻勿れ
△九紫 證券印章の取扱に注意すべし新事旅行凶

天氣豫報

(自三十日午後六時至一日午後六時)
晴れ
廿九日 最高溫度 七七、二 最低溫度 六一、九

廣告

綠蔭薰風之候各位彌御清適奉恭賀候陳者弊社儀組織變更と共に一層業務を擴張致候條營業上設備の梗概を左に御披露仕候間是非御一覽の榮を給り倍舊御愛顧御引立の程奉希候

京城南大門通三丁目(電話三二一五番)

土佐紙株式會社支店

營業科目

和洋紙販賣
印刷業
諸帳簿製本

◎本社は高知縣吾川郡伊野町に在り資本金七十萬圓なり
◎支店を土佐高知大阪に代理店を横濱東京に置き諸紙類は總て製產地より直輸入仕候間諸掛費用は比較的安價に相附き隨て廉價に賣却出來可申候
◎特殊諸紙抄造の爲め別に土佐紙工業株式會社を資本金二十萬圓にて本店所在地に置き以て如何なる製紙にても御注文に應じ抄造可致候
◎當京城支店には印刷部を有し精巧多數の印刷物にても御注文に應じ可申候

地方諸御官廳並に諸紙販賣印刷業御經營の諸賢に謹告す

弊店は韓國內地よりの御注文に應ずる爲め特に地方部を設け其御便益を圖るを以て專務と致居候處幸にして御注文日々增加仕り近時著るしき發展を見るに至候段是一に各位御甚大の御同情御引立ての賜に外ならずと只管感謝の至に堪へず候就ては此際一層地方部を擴張仕り期日の迅速と製品の確實なる事に重きを措き以て各位の御眷顧に酬ひ申度候間何卒陸續御用命被仰度奉懇願候

尙は多數御入用之御注文品に對しては特に店員を派出し御相談に應じ可申候

●弊店の特色

一 和紙類は現產地即ち本店並に各支店に於て使用地に適當なる品豫め準備致置候間同一種類の物如何程多數御注文相受候共短時日に於て最も迅速に一定の精品御用命に應ずるを得

一 洋紙類は高砂製紙會社、富士製紙會社、小倉製紙所、王子梅津兩會社並に阪地屈指之洋紙店と特約有之候間是又和紙同樣之特色を有す見本は各種取揃へ有之候間御申越次第差上可申候

堅牢無比

商家向自轉車

金六十三圓也

弊店開業以來日猶淺きにも不拘斯業者中の冠名を得たるは全く各位の御愛顧に外ならず候付ては聊か御厚恩をむくゆるに今回新輸入品純英國製スタンダード號を以て然も例を見ざる破天荒の廉價にて呈供するに絶對の責任ある保證可仕候間自轉車に要ある人士は此時期を逸せず至急御用命被仰付度希上候

京城南大門横

角自車轉商會

韓國支店

電話八七番

右自轉車は數に限りある事故豫定數賣切れの時は普通直段に復し申可く候